

令和7(2025)年度栃木県企業局決算の概要について

令和8(2026)年6月
企業局
(税抜)

【事業別決算概要】

項目 会計名	事業実績		料金(分譲)収入		純損益		貸借対照表(R8.3.31)	
	R7(2025)	R6(2024)	R7(2025)	R6(2024)	R7(2025)	R6(2024)	資産	負債 資本
電気事業 (前年度比)	販売電力量(MWh) 147,557 (75.1%)	販売電力量(MWh) 196,473	百万円 2,716 (83.6%)	百万円 3,250	百万円 379 (52.6%)	百万円 720	百万円 21,180	百万円 6,885 14,295
水道事業 (前年度比)	供給水量(千m3) 22,048 (100.2%)	供給水量(千m3) 22,001	(100.2%) 1,822	1,818	(81.4%) 188	231	20,011	2,618 17,393
工業用水道事業 (前年度比)	供給水量(千m3) 9,294 (100.6%)	供給水量(千m3) 9,237	(101.9%) 531	521	138	▲ 59	9,155	5,603 3,552
用地造成事業 (前年度比)	分譲面積(ha) 8.9 (-)	分譲面積(ha) 0.0	(6,951.9%) 1,877	27	517	▲ 87	11,042	7,336 3,706
施設管理事業 (ゴルフ場事業) (前年度比)	年間利用者数(人) 40,411 (101.6%)	年間利用者数(人) 39,773	(100.0%) 21	21	(183.3%) 11	6	1,939	370 1,569
施設管理事業 (賃貸ビル事業) (前年度比)	賃貸面積(m ²) 2,761.32 (100.0%)	賃貸面積(m ²) 2,761.32	(100.0%) 84	84	(73.9%) 34	46	1,053	430 623

【決算の主な特徴】

○ 電気事業

- ・ 板室発電所の発電停止や渇水の影響等により、販売電力量は前年度の 75.1%、料金収入は前年度の 83.6%となり、ともに減少
- ・ 損益は前年度の 52.6%となる **3億 7,900 万円の純利益** を確保

○ 水道事業

- ・ 供給水量及び料金収入とも前年度の 100.2%となり、ほぼ前年度並み
- ・ 委託料等の増加により、損益は前年度の 81.4%となる **1億 8,800 万円の純利益** を確保

○ 工業用水道事業

- ・ 供給水量は前年度の 100.6%、料金収入は前年度の 101.9%となり、ほぼ前年度並み
- ・ 特別損失等の減少により、損益は **1億 3,800 万円の純利益** を確保

○ 用地造成事業

- ・ 鹿沼インター産業団地(第2期)の完売により、分譲面積及び分譲収入とも増加
- ・ 損益は **5億 1,700 万円の純利益** を確保

○ 施設管理事業

- ・ 施設管理事業全体では、 **4,500 万円の純利益** を確保
 - ▶ ゴルフ場事業
 - ・ クラブハウスリニューアルや指定管理者の営業努力により、年間利用者数は前年度の 101.6%となる 40,411 人。2年連続で過去最高を更新
 - ・ 指定管理者からの安定的な納付金収入や減価償却費等の減少により、損益は前年度の 183.3%となる **1,100 万円の純利益** を確保
 - ▶ 賃貸ビル事業
 - ・ 入居率 100%の維持により、賃貸面積及び料金収入とも前年度の 100.0%となり、ともに増減なし
 - ・ 委託料等の増加により、損益は前年度の 73.9%となる **3,400 万円の純利益** を確保